

六訂 介護支援専門員実務研修テキストの修正について

一般財団法人 長寿社会開発センター

この度は、弊社テキストをご購入頂き誠にありがとうございます。

テキストの作成にあたりましては、細心の注意を払い行っておりますが、初版第1刷の記載内容に誤りがございましたので、初版第2刷の発行にあたり、下記のとおり、修正しております。

なお、各章の修得目標については、平成28年11月発出の「介護支援専門員実務研修ガイドライン」の文言に変更しています。

ご購入の皆さまには、多大なご迷惑をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。

巻数	版	該当ページ	
上巻	初版(平成28年11月)	p.(295) 6章修得目標	②各プロセスの意義と目的について説明できる。 ④③各プロセスの関連性を述べるができる。 ⑤④ケアマネジメントのプロセスの全体像について説明できる。
上巻	初版(平成28年11月)	p.331 下から1行目	特別事業所加算Ⅲ
上巻	初版(平成28年11月)	p.355 図7-①-2-2	居宅サービス等 区分支給限度基準額 平成28年2月4-8-1日 1月当たり 19,616単位
上巻	初版1刷(平成28年11月)	p.355 図7-①-2-3	交付年月日 27 28 年 8 3 月 4 2 日 1割 開始年月日 27 28 年 8 2 月 4 1 8日
上巻	初版1刷(平成28年11月)	p.393 上から2行目	受付日:平成28年4月21日(金)
上巻	初版1刷(平成28年11月)	p.397 下から1行目	特別な状況
上巻	初版1刷(平成28年11月)	p.437 ジェノグラム エコマップ	(年齢の)49と50を入れ替え
上巻	初版1刷(平成28年11月)	p.(457) 7③章修得目標	⑧本人利用者
上巻	初版1刷(平成28年11月)	p.(577) 9章修得目標	①地域包括ケアシステムの構築に向けた取組が求められる背景について説明できる。 ②地域包括ケアのシステムを構築する意義と目的について説明できる。 ④地域包括ケアにおけるシステムの構築に向けて介護支援専門員の果たすべき役割について説明できる。
上巻	初版1刷(平成28年11月)	p.(609) 10章修得目標	④多職種協働の意義と目的について説明できる。 ⑥多職種協働においておける個人情報を取り扱う上でその留意点の利用者とその家族の同意の必要性について説明できる。
下巻	初版1刷(平成28年11月)	p.(33) 13章修得目標	①ケアマネジメントプロセスの実践にあたっての留意点を踏まえ、観察した結果を盛り込んだ実習報告書の作成を実施ができる。 ②ケアマネジメントプロセスを実習先でについて、指導者のもと、実習先で体験した結果を盛り込んだ実習報告書の作成を実施ができる。 ③実際の生活環境を観察した結果を盛り込んだ実習報告書の作成を実施ができる。
下巻	初版1刷(平成28年11月)	p.(61) 14章修得目標	②ケアマネジメントプロセスに沿って、実習で作成したケアプラン(居宅サービス計画)について説明できる。
下巻	初版1刷(平成28年11月)	p.(70) 15①章修得目標	③ケアプラン居宅サービス計画作成のためのプロセスに沿って、支援にあたってのポイントについて説明できる。
下巻	初版1刷(平成28年11月)	p.76 上から3, 7, 9行目	傷障害
下巻	初版1刷(平成28年11月)	p.156 【家族状況】	
下巻	初版1刷(平成28年11月)	p.180 15③章修得目標	②・・・(略)・・・倫理的な対応及び、・・・(略) ③独居で認知症の要介護者利用者等における・・・(略) ④認知症の要介護者利用者と・・・(略)
下巻	初版1刷(平成28年11月)	p.199 図15-③-2-2	

巻数	版	該当ページ													
下巻	初版1刷(平成28年11月)	p.300 第4表	開催回数 1初回												
下巻	初版1刷(平成28年11月)	p.343 問題(困りごと)の欄 上から3行目	肝腎機能												
下巻	初版1刷(平成28年11月)	p.346 屋外移動の欄	改善/維持の可能性 維持に○												
下巻	初版1刷(平成28年11月)	p.(360)15⑥章修得目標	④看取りのケースについて、在宅生活の支援におけるおいて起こりやすい課題をについて説明できる。 ⑥継続的学習の必要性と、・・・(略)												
下巻	初版1刷(平成28年11月)	p.404 第2表 <初回>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">痛み・褥瘡の予防または対処をしながら過ごせる。</td> <td rowspan="5">H28.4.20~ H28.5.31</td> <td colspan="2">⑤療養指導・相談</td> </tr> <tr> <td>①食事の管理 栄養の確認・口腔ケア</td> <td>訪問看護①② ヒル</td> </tr> <tr> <td>②皮膚の清潔 入浴介助</td> <td>家族①② 本人①② 訪問看護② ヒル</td> </tr> <tr> <td>③床ずれ防止マット</td> <td>○ 福祉用具貸与</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	痛み・褥瘡の予防または対処をしながら過ごせる。	H28.4.20~ H28.5.31	⑤療養指導・相談		①食事の管理 栄養の確認・口腔ケア	訪問看護①② ヒル	②皮膚の清潔 入浴介助	家族①② 本人①② 訪問看護② ヒル	③床ずれ防止マット	○ 福祉用具貸与		
痛み・褥瘡の予防または対処をしながら過ごせる。	H28.4.20~ H28.5.31	⑤療養指導・相談													
		①食事の管理 栄養の確認・口腔ケア	訪問看護①② ヒル												
		②皮膚の清潔 入浴介助	家族①② 本人①② 訪問看護② ヒル												
		③床ずれ防止マット	○ 福祉用具貸与												
下巻	初版1刷(平成28年11月)	p.406 第4表 結論の欄	①訪問看護による入浴は、・・・(略)												
下巻	初版1刷(平成28年11月)	p.411 第2表 <見直し後>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">痛み・褥瘡の予防または対処をしながら過ごせる。</td> <td rowspan="5">H28.5.10~ H28.5.31</td> <td colspan="2">①食事の管理 栄養の確認・口腔ケア</td> </tr> <tr> <td>②皮膚の清潔 入浴介助</td> <td>訪問看護①② ヒル</td> </tr> <tr> <td>③床ずれ防止マット</td> <td>家族①② 本人①② 訪問看護② ヒル</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 福祉用具貸与</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	痛み・褥瘡の予防または対処をしながら過ごせる。	H28.5.10~ H28.5.31	①食事の管理 栄養の確認・口腔ケア		②皮膚の清潔 入浴介助	訪問看護①② ヒル	③床ずれ防止マット	家族①② 本人①② 訪問看護② ヒル		○ 福祉用具貸与		
痛み・褥瘡の予防または対処をしながら過ごせる。	H28.5.10~ H28.5.31	①食事の管理 栄養の確認・口腔ケア													
		②皮膚の清潔 入浴介助	訪問看護①② ヒル												
		③床ずれ防止マット	家族①② 本人①② 訪問看護② ヒル												
			○ 福祉用具貸与												